ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字:栢木寛照

えとす

令和3年 10・11 月合併号
No.334

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

第2次岸田内閣が発足
二ノ湯議員国家公安委員長

新しい資本主義を推進

菅総裁の突然の不出馬表明を受けて、自民党総裁選挙が行われた。選挙には、河野太郎、岸田文雄、高市早苗、野田聖子の4氏が立候補、連日、議論を戦わせた。9月29日に投開票が行われ、岸田、河野両氏の決選投票で、岸田文雄氏が勝利し、第27代総裁に選出された。10月4日に召集された臨時国会で、第100代内閣総理大臣に指名された岸田総理は組閣に着手、二ノ湯議員は、国家公安委員会委員長、防災担当大臣などに任命された。組閣直後の10月14日、岸田総理は国会を解散した。総選挙は10月19日に公示され、10月31日に投開票が行われ、自民党は予想を覆して、安定過半数を確保した。10日に召集された特別国会で、岸田氏は、再び内閣総理大臣に指名され、第1次岸田内閣の外相を除き閣僚全員を再任、直ちに第2次岸田内閣を発足させた。二ノ湯大臣は、前回の職務に加え、軽石問題も担当することになった。

第206回特別国会で、
第101代内閣総理大臣の指名を受ける岸田文雄氏

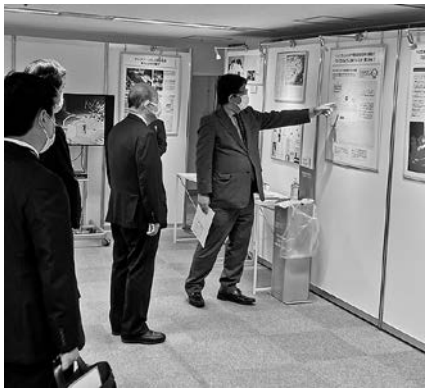
恒心

★岸田内閣で国家公安委員会委員長、防災担当大臣などに就任し、責任の重さを実感している。大学を卒業し、政治の世界に志して55年の歳月が経過した。長い秘書生活、17年間の京都市会議員を経て、漸くにして、内閣の一員に名を連ねることが出来、先ずは素直に喜びたい。★私が政治の世界に入って、最初の仕事は、故前尾繁三郎先生(2代目宏池会会長・元衆議院議長)の先輩秘書の運転手。朝、早く起きて、先輩の自宅に迎えに行き、先輩の自動車「セドリック」を運転して、先輩が経営する会社に行くのが日課だった。運転免許を取得したばかりの私には、「セドリック」は大きすぎて、運転に苦労した。★50年前の政治家の地元事務所は、ほんの数人しか秘書はいなかった。地元の城代家老とも言うべき先輩秘書は、元憲兵上がりで、とても厳しい人であったが、私はこの人に徹底的に鍛えられた。前尾先生の選挙区は、旧京都2区で、京都府下の全地域、京都市の右京区、伏見区を含み、全国でも有数の広い選挙区であった。★その広大な選挙区を数人で担当するのだから、なかなか大変で忙しい毎日であった。しかし、若い時は、体も丈夫で、少々無理をしても、疲れを感じなかった。後援会の人たちはほとんど目上で、経済的に裕福で、癖はあるが、個性的で、本当によく可愛がってもらい、勉強もさせていただいた。★当時お世話になった方々は、今日の私を見て、どのように思っておられるか。「二ノ湯君、よう辛抱して念願を叶えたな」あるいは「お前が大臣なんて、政治家のレベルも落ちたもんやな」。泉下に眠る先輩諸氏に、私の大臣就任の評価を聞いてみたいものだ。

二ノ湯議員 内閣の一員に

11月10日、第2次岸田内閣で、二ノ湯参議院議員は引き続き、国家公安委員会委員長、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣（防災・海洋政策）、領土問題担当大臣、国家公務員制度担当大臣を兼務することになった。そのため、連日、朝から夕方まで役所からの所管説明、しかも、週2回の閣議、週1回の公安委員会、週2回の記者会見と大変忙しい。加えて、公的な行事への出席があり、まさに席の温まる暇がない。特に、最近の警察行政は多岐にわたっており、大臣として、広い視野を持って、常に勉強しなければならない。僅か2か月足らずの経験であるが、警察官僚は極めて優秀であり、おそらく世界でもトップレベルではないか。時代の変化は、目まぐるしい。国民が警察に期待を寄せる分野は、益々広がっている。警察も国民の期待に応えるために、懸命に努力をしている。わずかな期間ではあるが、彼らが一生懸命に頑張っている限り、国民の安全、安心は大丈夫だという印象を持った。

就任式から現地視察まで



領土問題担当大臣として、
「領土・主権展示館」を視察（東京虎ノ門）

棚橋前国家公安委員会委員長との交代式
（国家公安委員会委員長室）

10月5日、国家公安委員会委員長として初登庁
（警察庁内にある国家公安委員会委員長室へ）

9都県市合同訓練で水消火器の視察
（右端が二ノ湯大臣）（横浜市西区）

松原津波復興公園にて献花
（岩手県陸前高田市）

第6回防災推進国民大会で
防災担当大臣として挨拶（岩手県釜石市）

熱海市の土石流被災現場
（静岡県熱海市伊豆山地区）

淀川河川事務所毛馬出張所
（大阪市北区）

嵐山の可動式止水壁
（京都市右京区）

衆議院選挙、京都は厳しい結果　当選議員抱負を語る

田中 英之(4区・文部科学副大臣)

自民党文部科学部会で挨拶

この度、岸田内閣で文部科学副大臣を拝命致しました。我が国の成長のためには、科学技術の推進が必要不可欠です。世界トップレベルの研究大学形成のための10兆円ファンドの創設、デジタル・グリーン・AI・宇宙等の先端科学技術の推進と産業創出、科学技術を担う人材の育成等を積極的に進めます。教育の分野では、子供たちの学びの遅れや教育格差が生じないように、新型コロナウイルス感染症と子供たちの学びの両立を図ることが重要です。少人数による、きめ細かな指導体制の整備やGIGAスクール構想による教育の充実、困窮学生の支援等に取り組みます。更に我が国が誇る文化芸術の振興やスポーツ立国実現に向けて取り組みます。現在、文化庁では京都への移転の準備を京都府・京都市とともに進めているところです。京都を含め、我が国全体の文化芸術の発展・発信に向け、しっかりと取り組んでまいります。結びに、先の衆議院議員選挙では皆様方にご支援いただき有難うございました。選挙区での当選がかなわず、申し訳ありませんでした。しかし比例区での当選をお与えいただき、心から感謝申し上げます。全力で職責を果たして参ることをお誓い申し上げご挨拶とさせていただきます。

本田 太郎(5区・外務大臣政務官)

駐日トルクメニスタン大使の表敬訪問

先般の衆議院議員選挙で2期目の当選をさせて頂きました、京都5区の本田太郎です。ご支援を賜りました皆様に心から感謝を申し上げ、引き続き京都と日本の発展のために仕事をしてまいる所存です。私は小選挙区選出議員として、京都府北部の人口減少抑止と地域活性化が使命だと考えていますので、2期目も引き続き、インフラ整備、災害対策、観光振興、医療・教育の充実などに力を尽くし、私たちの住む京都府北部を安全で豊かな地域にし、子や孫の世代が住み続けたいと思える持続可能な地域づくりを目指してまいります。この度の岸田内閣では外務大臣政務官を拝命しました。私自身が政治家としての幅を広げ、政府の一員として力強い日本外交の実現に向けても尽力してまいります。米中の対立、北朝鮮の弾道ミサイル、北方領土問題などわが国を取り巻く外交・安全保障環境は大変厳しい状況です。こうした先の見えない時代を、アメリカをはじめとする自由や民主主義、法の支配といった共通の価値観を持つ国々と連携し、日本と世界の平和と安全を守り抜かなければなりません。微力ですが、粉骨砕身努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

勝目 康(1区)

厳粛な気持ちで国会に初登院

伊吹文明元衆議院議長が38年担ってこられた国政のバトンを無事受け継ぐことができました。11月10日、解散総選挙後、特別国会が召集され、初登院をしてまいりました。京都の皆様よりいただいた大切な議席をもって、主権者である国民の皆様の意思を代表し国政の審議に当たる重い責任を負うこととなり、大変厳粛な気持ちでその日を迎えました。まさにこれからがスタートとなります。選挙戦においては、伊吹先生の志を継ぎ、京都と国との橋渡し役を務め、コロナ禍からの京都の再生と、京都の未来づくりに貢献していくとともに、新型コロナ感染症対策、景気・経済・雇用対策、少子高齢化・人口減少への対応、激甚化する災害を踏まえた防災・減災、厳しさを増す我が国の安全保障環境に即した外交・防衛政策といった国内外の重要課題について、政権与党という責任ある立場で全力で取り組むことを訴えてまいりました。その皆様とのお約束を実行できるよう、国会や党における政策論議に積極的に参画してまいります。しかしながら、浅学菲才の身であり、今後一層研鑽を積んでまいりますので、二ノ湯大臣をはじめ皆様の御指導・御厚誼を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

伊勢神宮初詣のご案内

京都市会議員時代から始めました「お伊勢詣り」も、
今まで33回実施致しました。今回が最後の初詣旅行となります。
ぜひとも多くの皆様がご参加下さいますようお願い申し上げます。
別紙でお申し込み下さい。

「新しい資本主義」に思う

主要マスコミの事前予想を覆して総選挙を乗り切った岸田政権。いよいよ本格始動となるが、首相肝いりの政策が「新しい資本主義」だ。多くの国民にとってその実態はまだ不透明であろうが、議員時代に岸田首相とともに同趣旨の勉強会を主宰していた私が「新しい資本主義」の中身を推測してみたい。

岸田首相の問題意識は、「経済成長の果実が富裕層に限定され、格差が拡大しているのではないか」ということだ。確かにアベノミクスはGDPを拡大し、株や不動産といった資産の押上げを実現した。一方、成長実感のある国民は2割にとどまり実質賃金もプラスにはならなかった。企業の労働分配率が下がり、サービス業を中心に低賃金の構造も続いている。こうした中、GDPの約6割を占める個人消費が上向かず、「成長と分配の好循環」が実現されないのだ。

資本主義そのものに格差を拡大させる欠陥があると指摘したのがフランス人の経済学者トマ・ピケティだ。著書「21世紀の資本」において過去200年間の膨大なデータを分析し、資本収益率が経済成長率を上回ることを実証した。資本収益率は資産家の資産に、経済成長率は労働者の賃金に、それぞれ比例するので、資本主義が続く限り資産家(富裕層)と労働者(サラリーマン)の格差は拡大し続けるというのだ。

資本主義の弊害への懸念が世界的に広まる中で、「新しい資本主義」を実現する、との岸田首相の問題意識は人類社会にとって非常に意義深いものである。いっぽう報道によると、官邸に設置された「新しい資本主義実現会議」では看護・介護・保育分野の報酬引き上げや賃上げ税制の拡充、10兆円規模の大学ファンドなどが検討されているという。非常に高尚なテーマの割にはやたらと具体的だ。

岸田首相には新しい社会像や幸福観など自らが重視する価値観をぜひ語ってほしい。人口減少、高齢化、デフレなど将来の重苦しい見通しを払拭するくらいの前向きな未来を国民に見せてほしいのである。

桜美林大学客員教授
二之湯 武史

ポスター掲示のお願い

来年の夏には、参議院選挙が執行されます。二ノ湯参議院議員の後継者として、京都市会議員の吉井章氏(山科区)が、自民党から立候補する予定です。ポスターが完成しましたので、是非とも掲示にご協力下さいますようお願い申し上げます。

身辺雑記

一、来年政界を引退表明した私に、岸田総理から国家公安委員会委員長、防災担当大臣等へのご下命があった。浅学菲才の人間であるが、精一杯努力して、国民の安全、安心の為に頑張りたいと覚悟を決めている。

一、国家公安委員会は毎週1度開かれる。委員は役所から提案される案件に対し、唯々諾々(いいだくだく)と了承するだけと思っていたが、それは全くの誤解であった。5名の委員は見識豊かな人たちで、自分の見解を大いに披瀝される。

一、まだ本格的な国会論戦が始まっていない。岸田総理は出来るだけ現地に出かけ、市民と身近に話を交わすことを勧めている。私の担当分野は幅広いが、時間の許す限り、所管の現地視察を行い、市民の生の声を聞いている。

一、大臣に就任して3日後の10月7日、千葉県北西部で、マグニチュード5・9の地震が起き、東京もかなりの揺れを感じた。私は風呂から上がり体を拭いていたが、これは一大事と、25分後に首相官邸の危機管理センターに駆け付けた。

一、歩く事が私の健康法。大臣になってから、歩く機会が減ってしまった。そのため、時間が少しでもあれば、議員会館、国会の廊下を歩いている。時には議員会館から、警護官と一緒に目的地まで歩く事もある。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会
年会費　1口1万円
入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228